



11月号 平成29年10月31日発

# 荇田小だより

横浜市都筑区荇田南町694番地 [Tel 911-0149]

アドレス [http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/eda/]



## 運動会

～子どもがいる景色～

副校長 高城 剛

今年ほど雨天のため、外での事前練習ができなかった運動会はありませんでした。2週間にわたり、天気予報とのにらめっこが続き、雨天時を想定して、全学年の徒競走を先にまとめて行うプログラムまでつくり、学校としても最善の対応に取り組んでいました。最終的には第二予備日の火曜日開催となり、雨の心配もなく通常通りのプログラムですべての式典、競技、演技を行うことができたことにほっとしました。

本校は全校児童302人の学校規模で赤白対抗形式で運動会を行っています。応援団が応援合戦を繰り広げ、鼓笛隊が式典を盛り上げ、リレー代表の選手達が力強い走りを見せてくれます。協力して美しいポーズを決める高学年の組体操、力強さやかっこよさを見せてくれる中学年のソーラン節、見ている人を笑顔にしてくれる低学年の演技、なかよしグループをまとめるリーダー、実行委員会や係りの仕事をがんばる児童の姿も見られます。そしてそのまわりには、温かい声援や拍手を送ったり、わが子の活躍をしっかりと納めようとカメラを構えたりする多くの保護者や遠くからお孫さんの成長を見に来た祖父母のみなさん、そして地域のみなさんの姿があります。

今年の6月、5年生の宿泊体験学習で行った南伊豆市の子浦の港で、地元の方から聞いた言葉です。「息子は成人して川崎で働いているんです。夏には孫を連れて遊びに帰ってくるんですよ。」「この小学校も閉校になってしまい、さびしいばかりですよ。」「300人も子どもがいるなんてにぎやかで、楽しい学校なんでしょうね・・・。」

現在、子浦のまちは観光協会も解散してしまい、釣具店や飲食店も閉店して、観光船会社もなくなってしまいました。

日本全体で見ると、少子化が続き、学校の統廃合が進んでいます。もちろん人数の少ない学校でもきめ細やかな教育が行われ、多くの子どもたちが立派に成長していますが、おおぜいの仲間と協力したり、競い合ったりしてお互いを高めあう機会がなくなっていくのは残念なことだと思います。また、子どもを中心に大人たちが集まり活動する機会がなくなることもさびしいことです。運動会を見ていて、子どもがいて、まちに活気があることはすばらしいことだと思います。

大いちょうが見守る校庭で荇田小学校の運動会が20年も30年も続き、日本や世界を動かす活力、エネルギーの原点になってもらいたいものです。

